

## ● 講座名 H1 中央学院大学オムニバス講座 全日程 5 回

- 受講料 4,000 円 ※ 本学学生は学割料金で受講できます。
- 曜 日 全日程 火 曜日
- 時 間 10 : 40 ~ 12 : 10 ※ 2 限目
- 教 室 教室
- 持ち物 筆記用具

回	内 容		
カリ キ ュ ラ ム	日にち 10 / 1	講師名	本学法学部教授 大村 芳昭
	学習テーマ	ハーグ子奪取条約と日本	
	1 内容	国際結婚の増加などに伴い、夫婦間の不和などが原因で、親の一方が子どもを他国に不法に連れ去ったり他国に留置する問題が増えています。そのような場合に、子の監護の問題を子の従来の居住地で判断するための国際協力を推進すべく、「国際的な子の奪取の民事上の側面に関する条約」が採択され、日本もつい最近加入しました。 この講座では、この条約の概要や日本の対応、今後日本が直面する課題についてご一緒に考えたいと思います。	
	日にち 10 / 8	講師名	本学商学部非常勤講師 森山 あゆみ
	2 内容	グローバル化社会における資本主義と民主主義 国際社会が混沌としているとの考えは今に始まったことではないが、近年のそれは、歴史の再来とも捉えられることもあり、一方で未曾有の社会の到来とも捉えられる。その背景には経済の急速なグローバル化の中での政治の混迷があることは確かである。今回は現代国際社会の問題をグローバル化が進む社会の中での資本主義と民主主義との関係から考えてみたい。	
3 内容	日にち 10 / 15	講師名	本学法学部専任講師 柴田 彬史
	学習テーマ	管理者不明土地はなぜ生まれるか…話題のニュースの背景制度	
	3 内容	2019年、政府は近時増えている管理者不明土地・家屋に関する対策を講じることを打ち出しました。これに伴い、法務省はこのための立法に向けて審議会での検討を重ねています。しかし、そもそも管理者不明土地・家屋はなぜ生じ、なぜ増えているのでしょうか。それは現在の土地家屋を巡る諸制度と、それを支える民法の物権法理論とを比べてみれば見えてきます。この講座は、身近なニュースに一步踏み込むことで、土地制度とそれを巡る話題についてより深く学ぶことを目指します。	
4 内容	日にち 10 / 29	講師名	本学法学部教授 白水 智
	学習テーマ	古文書を読んでみる	
	4 内容	古文書とは不思議なものです。同じ日本人が少し前の時代に書いたものなのに、読めない、読みにくい。ミズの這ったような文字ははじめから読めないと思いがちですが、読んでみると意外とわかるし、おもしろいものです。 まずは超初心者の方に何かきっかけになる手ほどきができれば、と考えています。	
5 内容	日にち 11 / 5	講師名	本学商学部准教授 森元 晶文
	学習テーマ	日本とフィリピンー新しい両国関係	
	5 内容	フィリピンは距離的な近接性もあり、古くから日本と密接なつながりを持った国である。ただし、第二次大戦直後の両国関係は、現在からは全く想像できないものであり、フィリピン人の反日感情は極めて根深いものだった。ところが、今日フィリピンは世界でも有数の親日国家となっている。戦後の両国関係を紐解くと同時に、変化する日比関係の未来を展望していく。	